

前南進路だより

R8・第2号 4月27日発行

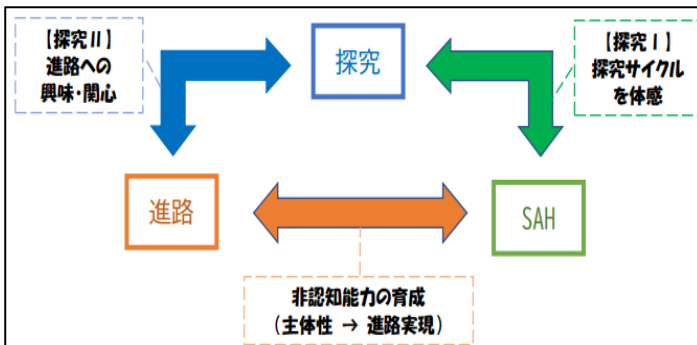


1、R8 総合的な探究の時間について

今年度も昨年度と引き続き、下記のような『探究』・『進路』・『SAH』を三位一体とし、それぞれの取り組みを相互に関連させることで、生徒の非認知能力の育成、進路への興味・関心の向上につなげていきたいと考えております。1年次の「前南 地域探究Ⅰ」では、前橋市の課題をテーマに、探究のサイクルを体感することに重点を置きます。下記の「総合的な探究の時間の展開」(文科省)のように、【課題設定】→【情報の収集】→【整理・分析】→【まとめ・表現】の順序で探究活動を進めていきます。2年次の「前南 進路別地域探究Ⅱ」では、個々の興味・関心のある事柄(自分の進路に関連したもの)、1年次の「探究Ⅰ」をより深化させ、課題解決の方法を考察することに重点を置きます。

※「R8 総合的な探究の時間」のイメージ

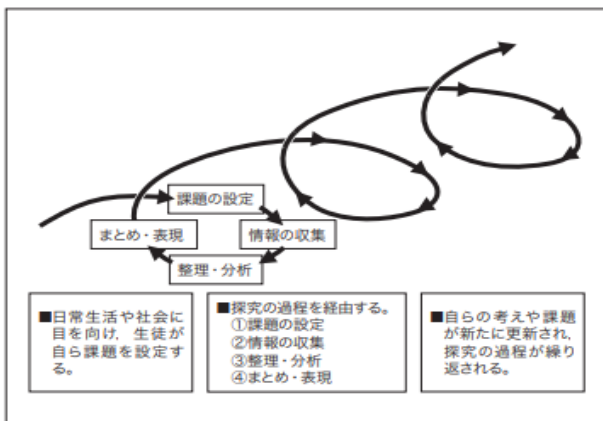
※各学年テーマ



《1年次》 「前南 地域探究Ⅰ」
～前橋市の課題をテーマに、探究のサイクルを体感～

《2年次》 「前南 進路別地域探究Ⅱ」
～個々の興味・関心のある事柄、「探究Ⅰ」をより深化させ、課題解決の方法を考察～

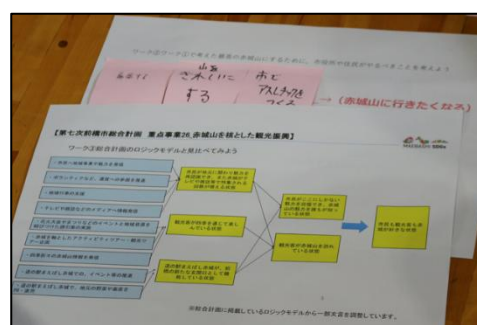
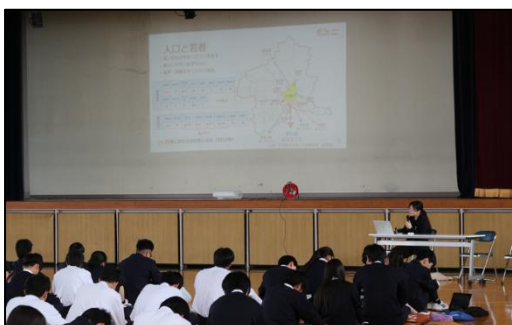
※「総合的な探究の時間の展開」(文科省)



また、進路指導の充実を図るべく、1年生の教室から確認することができる「前橋工科大学」への大学見学会を、5月下旬～6月上旬に企画しております。入学してまだ1カ月あまりで、将来の進路や志望校を決めることは非常に困難であります。まずは、直接大学へ足を運び、キャンパスや大学生の様子について自分の目で確認をし、大学の雰囲気を感じてほしいと思います。その他にも、主事講話を定期的に行い、入試方式や入試傾向など必要な進路情報を提供していきたいと考えております。

(1) 前橋市役所の方による講演会(2年生)
※講演の様子(5限)

4月14日(火)5・6限
※ワークショップの様子(6限)



※講演：『前橋市の現状や特徴と課題』

- (1) 地域活動・地域人材・教育
- (2) 結婚支援
- (3) 障害者活躍
- (4) 女性活躍
- (5) 産業振興
- (6) 農業振興
- (7) 若者定着
- (8) 外国人共生
- (9) 公共交通上
- (10) インフラ維持
- (11) 観光振興（赤城山）

※ワークショップの概要：『赤城山観光を考察』

ワーク①

() → 赤城山に行きたくなる

※「〇〇な赤城山」= 最高な赤城山

ワーク②

() → ワーク① → 赤城山に行きたくなる

※ 最高な赤城山にするために、取り組むべきことを考察

ワーク③

総合計画のロジックモデルと比較

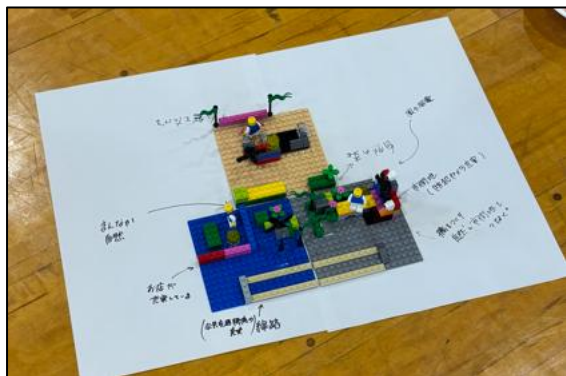
※ ワーク①・ワーク②をふまえ、総合計画のロジックと比較

前橋市役所から5名の講師をお招きし、『前橋市の現状や特徴と課題』について講演をしていただきました。そして、4～5名の班をつくり、ワークショップも行いました。ワークショップでは、『赤城山観光を考察』というテーマで、ワーク①では「最高な赤城山」について付箋に思いついたことを自由に書き、最もよいものを班で1つ決定しました。ワーク②では、ワーク①を実現するために取り組むべきことを考察し、最後に前橋市役所で実際に作成したロジックモデルと比較し、類似点・相違点について発表を行いました。実際に、市役所の方が行っている作業を体験し、今後の探究活動（特に、課題設定とその解決方法）の参考になったと思います。

(2) 文・理系 講演会（2年生） 4月21日（火）6限～

前橋国際大学の児浦良裕先生をお招きして、講義「LEGO で描く理想の前橋」。前橋工科大学の佐藤良介先生をお招きして、講義「建築構造とサステナビリティ」の講演会を、文系・理系に分かれて実施しました。「前橋を20年後も住みたいまち」にするために、LEGO を使用して班内で意見交換と共有が行われた、建築工学の観点から学問分野の説明や前橋工科大の取り組みを分かりやすく説明していただきました。今後の探究活動と進路について、参考にしてほしいと思います。

※ワークショップ：LEGO を使用



※佐藤先生の講義の様子

